

SPAC 秋→春のシーズン 2019-2020 #5

# メナム河の日本人

## The Menam River Japanese

演出:今井朋彦

作:遠藤周作

出演:SPAC/阿部一徳、大内智美、大高浩一、奥野晃士  
加藤幸夫、小長谷勝彦、佐藤ゆず、たきいみき、林大樹  
布施安寿香、三島景太、山本実幸、吉植莊一郎  
渡辺敬彦 [50音順]

### 日時

#### ●一般公演

2月15日(土)、16日(日)、23日(日・祝)、24日(月・休)、  
29日(土)、3月1日(日)、7日(土) 各日 14:00 開演

#### ●中高生鑑賞事業公演「SPACeSHIP<sup>スペースシップ</sup>げきとも！」

SPAC では静岡県内の中高生を対象に招待公演を行っています。※印は一般販売のお席あり(枚数限定)。詳細は公式サイトへ。

2月18日(火)10:30、19日(水)13:30※、26日(水)13:30※  
27日(木)13:30※、28日(金)13:30、3月3日(火)13:30※  
4日(水)13:30、5日(木)13:30、6日(金)13:00、9日(月)13:30  
10日(火)14:00、11日(水)18:00※

### 会場 静岡芸術劇場

製作:SPAC-静岡県舞台芸術センター  
助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会  
後援:タイ王国大使館、静岡日タイ協会



『メナム河の日本人』イメージビジュアル ©橋本裕貴

SPAC 秋→春のシーズン 2019-2020 #5 『メナム河の日本人』 についてのお問い合わせならびに取材のご希望は、  
「SPAC-静岡県舞台芸術センター 広報担当:内田・西村」までお願いいたします。

TEL: 054-208-4008 (舞台芸術公園) / FAX: 054-203-5732 / E-mail: uchida@spac.or.jp nishimura@spac.or.jp

### ■静岡ゆかりの偉人・山田長政の生き様に迫る

#### 「理想の国」を追い求めた人間たちのドラマがここに！

このたびSPACは、「秋→春のシーズン」の最後を飾る作品として、静岡ゆかりの偉人・山田長政を主人公にした遠藤周作の戯曲『メナム河の日本人』を上演します。

江戸時代初頭、駿河国(静岡)の籠担ぎから己の才覚のみを頼りにアユタヤ王朝(タイ)に渡り、貿易商や日本人傭兵部隊の隊長として宮廷で重用されるまでに登り詰めた山田長政。その波乱万丈の生涯は今なお人々を惹きつけてやみませんが、キリスト教文学で名高い作家・遠藤周作もその生涯に魅了された一人でした。

遠藤は、長政の生き様を壮大な歴史活劇として鮮やかに描く一方、日本人宣教師ペトロ岐部が同時期にアユタヤにいた事実を知り、二人の邂逅を創作。異国の地で自らの思い描く「理想の国」の建設を目指した長政と、「神の国」に永遠の価値を求めた岐部を対比させることで、自らの抱える「日本人」と「信仰」の問題を織り込みました。さらには長政を取り巻く王宮や日本人町の人々を巧みに配置することで、立身出世の英雄譚に止まらない人間ドラマに昇華させています。

### ■文学座・今井朋彦が SPAC に三度目の登場！

#### “余白”を読み解き、古今東西変わることはない人の業を浮かび上がらせる

本作の演出を手掛けるのは、俳優として数々の舞台・映像作品に出演する一方、近年演出家としても精力的に活動する文学座・今井朋彦。SPAC では、2010年・13年の『わが町』に続き2作目の演出となります。

今井は、本作の印象を「物語の上に作者の宗教観・人間観があり、シェイクスピアのようなスケール感。“余白”も多く、読み返すたびに発見がある」と語ります。稽古では、奇をてらわず戯曲の行間まで丁寧に読み解くという自らの演出の持ち味を遺憾なく発揮し、俳優たちと対話を重ねながら、一つ一つのシーンを創り上げています。

また、自然や時の流れを、大量の布で表現した美しい美術は、舞台上で繰り広げられる人間の栄枯盛衰を一層際立たせます。

重厚かつ骨太でありながら、1973年劇団「雲」により初演されて以降ほとんど上演がない“隠れた名作”が、今井とSPACの実力派俳優陣、そしてSPAC初参加にして主人公の長政を演じる林大樹の手でどのように蘇るのか、どうぞご期待ください。

## あらすじ

重苦しい暑さに満ちた王都アユタヤでは、死の床にある王の後継者をめぐり、残忍で隠微な争いが繰り広げられようとしていた。日本人傭兵隊長である山田長政は、この混乱に乗じて自らの理想を実現しようと野心を燃やす。しかし、王宮や日本人町の実力者たちは、長政を利用しようと策略を巡らせ…。禁教の嵐が吹き荒れる日本への帰国を目指す神父・ペトロ岐部との出会いを経て、長政がたどり着く先とは――。

## プロフィール

演出:今井朋彦(いまいともひこ)



文学座所属。俳優として劇団内外で数多くの舞台に出演するほか、映像の分野でも精力的に活動中。また演出家としても『星の王子さま』(寺山修司作)、『パンドラの鐘』(野田秀樹作)、『Noises Off』(マイケル・フレイン作)、『セチュアンの善人』(ベルトルト・ブレヒト作)、『メモリアル』(松原俊太郎作)などを手掛けている。SPAC では 2010 年・13 年に『わが町』(ソートン・ワイルダー作)を演出し、深い感動を呼んだ。

—近年の主な出演作品—

【舞台】『リチャード三世』『TERROR』『ウーマン・オブ・ザ・イヤー』  
『Le Père 父』『Taking Sides ~それぞれの旋律~』  
【TV】『真田丸』『黒井戸殺し』『義母と娘のブルース』『メゾン・ド・ポリス』  
第 31 回紀伊國屋演劇賞個人賞、第 9 回読売演劇大賞優秀男優賞  
第 62 回芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。

## チケット 全席指定

一般:4,200 円 / ペア割引:3,700 円(2名様で1枚につき)

ゆうゆう割引:3,500 円[満 60 歳以上の方]

学生割引:2,000 円[大学生・専門学校生]1,000 円[高校生以下]

※その他グループ割引、障がい者割引がございます。

★静岡県内の小学生ご招待(1公演5名様まで)

## チケットお取り扱い

### SPAC チケットセンター

TEL:054-202-3399 (10:00~18:00/休業日を除く)

※公式サイト、劇場窓口でもご購入いただけます。

## お問い合わせ SPAC-静岡県舞台芸術センター

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡 2 丁目 3-1

TEL:054-203-5730 / FAX:054-203-5732

E-mail:mail@spac.or.jp / 公式サイト:https://spac.or.jp

SPAC 秋→春のシーズン 2019-2020 #5『メナム河の日本人』についてのお問い合わせならびに取材のご希望は、「SPAC-静岡県舞台芸術センター 広報担当:内田・西村」までお願いいたします。

TEL:054-208-4008 (舞台芸術公園) / FAX:054-203-5732 / E-mail:uchida@spac.or.jp nishimura@spac.or.jp

## ●●● 会期前のイベント ●●●

### ◆おためし劇場

1/26(日)14:00~15:30 静岡芸術劇場 リハーサル室  
稽古見学や演出家の話を聞くなど、普段は見られない舞台の裏側をのぞくことができる人気企画です。

[参加無料/要予約/定員 25 名]

## ●●● 会期中のイベント ●●●

### ◆プレトーク 一般公演日の開演 25 分前より

舞台をより面白く観劇できるポイントをご紹介します。

### ◆はじめての演劇鑑賞講座 2/16(日) 12:30~13:30

講師:永井健二(SPAC 俳優) [参加無料/要予約/定員 20 名]

### ◆アーティストトーク

2/15(土)、16(日)、23(日・祝) 終演後

演出の今井朋彦とゲストや出演者によるトークを開催します。

### ◆バックステージツアー

2/24(月・休)、29(土)、3/1(日)、7(土)終演後

創作・技術部スタッフが舞台裏を特別にご案内します。

[参加無料/要予約/定員 40 名] ※所要時間約 30 分

### ◆カフェ、シンデレラで逢いましょう!

終演後は、出演者が舞台衣裳でお見送りに登場します! 写真撮影や握手など俳優との交流をお楽しみください。

★各イベントのお申し込みは SPAC チケットセンターまで

## ●●● その他関連企画 ●●●

<駿河東海道おんぱく 2020 プログラム>

### 山田長政と「メナム河の日本人」

ゆかりの地をめぐりぶら門前

2/22(土)10:00~12:30 ※受付:9:30~

静岡市内の旧東海道宿場町で歴史・食・文化といった様々な体験を楽しむイベント「おんぱく」で、本作の上演を記念して、山田長政や戯曲につながる知られざる歴史を紐解くツアーを開催。本作出演俳優もサプライズで登場予定です。

コース:静岡浅間通り商店街組合事務所集合→浅間通り→

浅間神社→カトリック教会→商店街事務所

申し込み・お問い合わせ TEL:054-245-2322 (原木肥料店)

主催:静岡浅間通り商店街振興組合

★本作のトレーラーはこちら。演出の今井朋彦のコメントや、稽古の様子をご覧ください。

